

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

僕は子どもの頃、作文が苦手でした。(1) **イ**、自分の気持ちを文章に書いて人に見せるということにどこことなく恥ずかしさを感じていたからです。(2) **ウ**、人に命じられて文章を書かされるということに対しての反発の気持ちもあったのかもしれない。その結果、作文の授業中はじっと何もせずに席に座っていることが多くなってしまいました。(3) **オ**、大人になってからの僕は文章を書くことが大好きになりました。(4) **エ**、文章を書くことで人に自分の気持ちを伝えることが楽しくなっています。不思議なものですね。(5) **ア** 幼い頃から大好きだった体育については、大人になった今でも同じく大好きです。休みの日には近所の体育館でよく運動をしています。

ア ところどころ イ というのも ウ また エ むしろ オ ところが

- (1) **イ** (理由の説明)
- (2) **ウ** (並べて述べる)
- (3) **オ** (逆の内容)
- (4) **エ** (どちらかと言うと)
- (5) **ア** (話題を転換)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

物事を身につけるには基本の習得と反復練習が重要です。(6) **コ** 水泳を例にとってみましょう。(7) **カ** 先生やコーチから正しい泳ぎ方を教わることです。この段階ではゆっくりとていねいに正確に正しいフォームを身につけることが重要です。(8) **キ** フォームが固まってきたら、そのフォームで繰り返し泳いでみることです。ここでは量をこなしていくことが大切です。わざわざ意識しなくても自然に身体が動くようになるまでひたすら繰り返ししましょう。(9) **ク** それをもっとスピーディーにできるように意識しながら、さらに反復練習を重ねます。こうすることであなたはきっと水泳がうまくなるでしょう。実はこのお話は皆さんが国語や算数などの学校の勉強をするときにも共通している



ことです。

(10)

ケ

物事を身につけるには基本の習得と反復練習が重要なのです。

カ まずは キ 次に ク 最後に ケ とにかく コ たとえば

(6) コ (例をあげる)

(7) カ (例の中での第一段階)

(8) キ (例の中での第二段階)

(9) ク (例の中での最後の段階)

(10) ケ (事情や条件があってもそれらにかかわらず)